

岡田二郎 （小説家） 明治二十二年一月四日北海道松前郡生れ、

昭和二十九年四月十一日没（八九〇—一九五五）。筆名不砂司陽。大正八年

早稻田大學文學部英文科卒。博文館に入社、雑誌『文章世界』編輯の

傍ら濱田廣介等と同人誌『地平線』發刊。十年退社してフランスへ遊

學。十四年『文藝日本』主宰。『不同調』、『近代生活』各同人。作

家牧屋喜二（本名岡田五郎）は實弟。

著譯書『涯なき路』（大正十年一月）『新進作家叢書』（一）

『青春』（大正十年八月二十八日新潮社）、『巴里（叛逆者の告白）』

（大正十一年二月八日新潮社）、『ゆめり』（合著・親漢文藝會編、

大正十二年十一月二十五日改造社）、『ポオル・ジエテル・デイン作』『銀

婚式』（譯、大正十四年五月十五日新潮社）『現代佛蘭西文藝叢書』（一）

『日本小説集・第二集』昭和二年版』（合著・文藝家協會編、昭和一

年五月十一日新潮社）、『新進傑作小説全集・第十卷』（澤崎士郎集） 岡田二郎集

（昭和四年六月十五日中央社）、『近代戀愛術』（合著・新青年編輯部

編、昭和四年七月二十一日博文館）『新青年叢書』（一）『物質の彈道』

（昭和五年四月二十日新潮社）『新興藝術派叢書』（一）『誰か一巻馬鹿か

？』（昭和五年八月七日赤燻閣書房）『モダン派傑作選集』（一）『黄金

草』（昭和五年十月二十日新潮社）『長篇文庫』（一）『北海道斷片』（合

著、昭和五年十一月二十五日洋藤司馬編輯）、『地獄繪』（昭和九年

二月十六日文座書林）、『純文學のたのしみ』（合著

・田邊茂一編、昭和十年五月二十日純淨國産書店

『純淨國産パンフレット』（一）『春の行列』（昭和

十一年九月五日有光社）『純粹小説全集』（一）『文壇人オリジナル・シ



ナリ才集』(合著、昭和十一年十一月五日河出書房)、「シナリ才文學全集」(「株と女子」)(昭和十二年六月十九日信正社)、「秋・冬」(昭和十二年四月)、「竹村書房」、『春行路』(昭和十四年七月)、「日本士文藝社」、『短篇一四十八人集』(合著・月刊文章編輯部編、昭和十五年)、「二月十八日厚生閣」、『郷愁』(昭和十五年十月十五日河出書房)、『短篇建築叢書』(「巴里」)(昭和十五年十一月十五日明石書房)、『伸行狀記』(昭和十五年十一月二十日砂子屋書房)、『女性の眞實』(昭和十六年一月二十五日時代書房)、『生活の文學』(昭和十六年八月十五日萬里閣)、『動物の世界』(昭和十六年十一月五日豐國社)、『新編神話』(昭和十七年八月十五日金鈴社)、『空の勇士』(昭和十八年四月二十日紀元社)、『少年少女選書』(「白瀬中尉」)(内題「開拓者の白瀬中尉」)(昭和十八年七月五日鶴書房)、『新日本偉人選書』(「春の奴隸」)(昭和二十一年九月二十五日曉書房)、『現代珠玉集・第一輯』(合著・掛川長正編、昭和二十一年七月二十日鳳文書林)、『巴里一叛逆者の告白』(昭和二十二年八月二十日東京女子文社)等。

